

◆防災科学技術研究所より「2017年度 土砂災害予測に関する研究集会」のお知らせ

趣旨：土砂災害予測技術の現在における到達点を明らかにし、それをさらに実用的に発展させるため、多くの研究者・技術者・その他ステークホルダーの意見交換をする場として本研究集会を企画します。

- ・主 催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 (NIED)
- ・後 援：日本地すべり学会・日本応用地質学会・砂防学会・斜面防災対策技術協会
- ・開催日時：2017年12月7日(木) 13:00~18:10、8日(金) 9:00~17:55
- ・プログラム：別紙参照(添付のpdfファイル)
- ・開催場所：〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1
防災科学技術研究所 交流棟1階 和達記念ホール
<http://www.bosai.go.jp/introduction/project/location/location01.html>

- ・意見交換会：12月7日(木)19:00~21:00(送迎バス有)
会 場：ホテルグランド東雲(つくば駅から徒歩10分)
<http://www.hg-shinonome.co.jp/>
参加費：6,000円(税込、予定価格)(当日受付でお支払いください)

- ・昼食弁当予約販売：12月8日分 1食500円(税込、お茶込)
※本研究所食堂は小規模なためご利用になれません。また、研究所付近にレストラン等が少ないため、昼食をご持参いただくか、お弁当の予約をお願いいたします。当日販売はいたしませんのでご了承ください(当日受付でお支払いください)。

- ・参加申込要綱：
 - ①参加者氏名、所属
 - ②メールアドレス
 - ③住所、電話番号
 - ④意見交換会出欠
 - ⑤2日目(12月8日)昼弁当予約の有無を添えて下記アドレスまでメールでお申し込みください(都合により、意見交換会・弁当のみ申込期限が早くなっておりますのでご注意ください)。
jisuberi@bosai.go.jp (土砂災害研究会事務局) (電話：029-863-7579)

- ・参加申込期限：2017年11月30日(木)
- ・弁当、意見交換会申込期限：2017年11月24日(金)

*本研究集会はCPD認定プログラムではありません

2017年度 土砂災害予測に関する研究集会 プログラム案

質疑込み発表時間(特別講演以外):1日目:1件25分、2日目:1件20分

12/7(木)午後			
	13:00~13:05		開会挨拶
	13:05~13:10		趣旨説明
	13:10~14:10		特別講演(質疑込み)
千木良 雅弘	京大防災研		深層崩壊発生の準備過程としての重力斜面変形
	14:10~14:20		休憩
	14:20~17:00		セッション1:重力変形地形と深層崩壊発生予測
木下 篤彦	国総研	14:20~14:45	紀伊山地における深層崩壊危険箇所の特徴と水文・水質調査について
内田 太郎	国総研	14:45~15:10	深層崩壊発生場所の予測と山脚固定効果の定量化の試み
西井 稜子	新潟大学	15:10~15:35	付加体の地質構造が大規模崩壊の発達に及ぼす影響:南アルプスアレ沢崩壊の例
	15:35~15:45		休憩
小嶋 智	岐阜大学	15:45~16:10	中部日本の高山~低山域の付加体分布地域に発達する山体重力変形地形の特徴と発達過程
木村 克己	防災科研	16:10~16:35	斜面崩壊に認められる付加体の地質構造制約
永田 秀尚	風水土	16:35~17:00	断層・破砕帯とランドスライド:素因・過程・結果
	17:00~17:10		休憩
	17:10~18:10		セッション1の総合討論
	19:00~21:00		意見交換会
12/8(金)午前・午後			
	9:00~10:40		セッション2:地震土砂災害
木村 誇	防災科研	9:00~9:20	阿蘇カルデラ西部、高野尾羽根溶岩円頂丘における斜面崩壊の履歴
佐藤 浩	日大/地理院	9:20~9:40	改測で明らかになった熊本地震の三角点水平変動の向きと崩壊面積率の関わり
長谷川 陽一	国総研	9:40~10:00	熊本地震高野台地区地すべりの試料を用いて液化化強度を求めた繰返し非排水一面せん断試験
土井 一生	京大防災研	10:00~10:20	重力変形斜面における地震観測と震動特性の把握 -奈良県天川村栃尾地区の事例-
柴崎 宣之	日本工営	10:20~10:40	譲原地すべりににおける地震動観測に基づく複数の地震動加速度波形の比較
	10:40~10:50		休憩
	10:50~11:40		セッション2の総合討論
	11:40~12:40		昼休憩
	12:40~13:40		セッション3:豪雨土砂災害
岡田 憲治	気象庁	12:40~13:00	線状降水帯と土砂災害の危険度
林 拙郎	静岡大学	13:00~13:20	土砂災害に対応する豪雨度、豪雨階の設定法
山川 陽祐	筑波大学	13:20~13:40	降雨を誘因とする深層崩壊の発生メカニズム解明と危険地評価に向けた水文学的アプローチ
	13:40~14:10		セッション3の総合討論
	14:10~14:20		休憩
	14:20~16:40		セッション4:九州北部豪雨土砂災害
加藤 亮平	防災科研	14:20~14:40	平成29年度九州北部豪雨を引き起こした線状降水帯に伴う降水量の予測可能性
山田 隆二	防災科研	14:40~15:00	平成29年度九州北部豪雨に伴う土砂・地盤災害の現地調査報告
村上 亘	森林総研	15:00~15:20	2017年7月九州北部豪雨における斜面崩壊と雨量分布および植生状況との関係について
古田 竜一	RESTEC	15:20~15:40	人工衛星データ等による平成29年7月九州北部豪雨の土砂移動分析
松澤 真	パンフィックコンサルタンツ	15:40~16:00	九州北部豪雨により発生した崩壊の発生時刻と雨量・崩壊形態との関係-日田市柳瀬地区の事例-
田近 淳	ドーコン	16:00~16:20	地すべり地形の場で発生する斜面崩壊-日田市小野地区地すべりを例にして
佐野 浩彬	防災科研	16:20~16:40	豪雨災害時における災害対応現場での災害情報の共有と活用-福岡県内の対応を事例に-
	16:40~16:50		休憩
	16:50~17:50		セッション4の総合討論
	17:50~17:55		閉会挨拶